

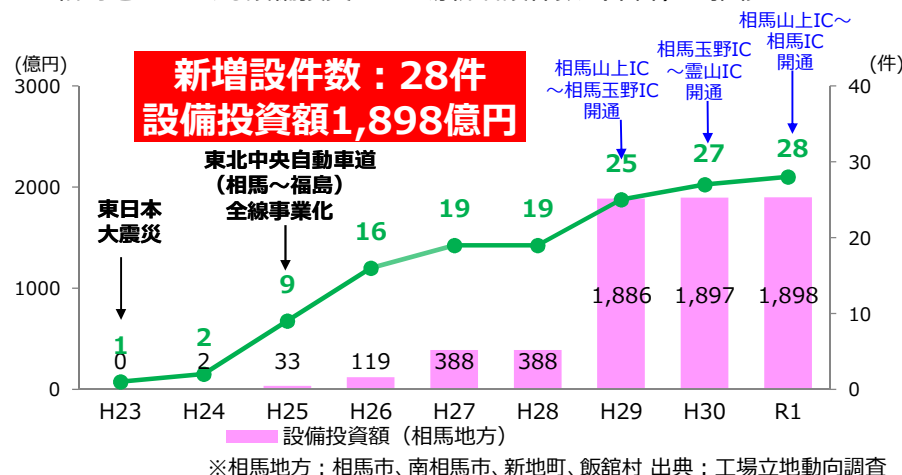
東北中央自動車道や相馬港の整備により産業活性化を支援

- 東日本大震災後、東北中央自動車道や相馬港の復旧・復興により相馬地方の工場新增設件数や設備投資額が増加。
- 相馬港に、新たに立地した鉄鋼加工メーカーでは、東北中央自動車道を利用し、福島県内のみならず山形県等へも取引を拡大。
- 東北中央自動車道（相馬～福島）の全線開通により輸送時間が短縮され、被災地の産業活性化を支援。

▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況

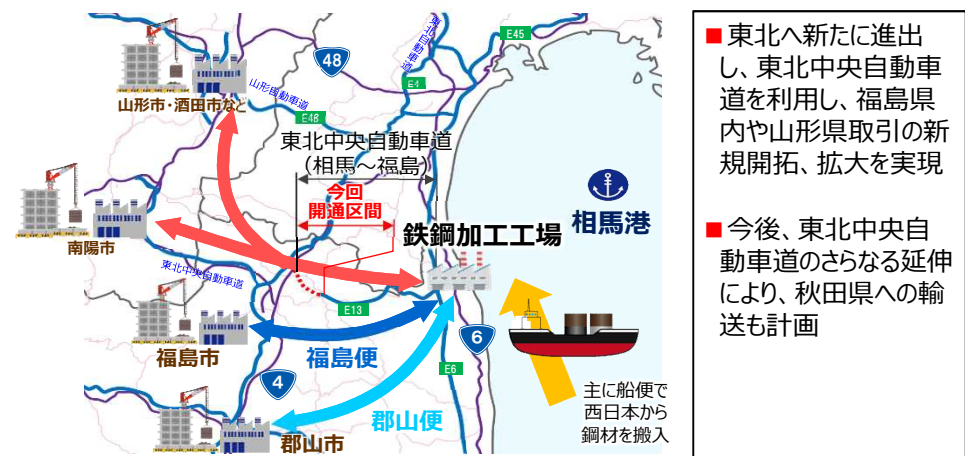


▼相馬地方における設備投資額と工場新增設件数 (累計) の推移

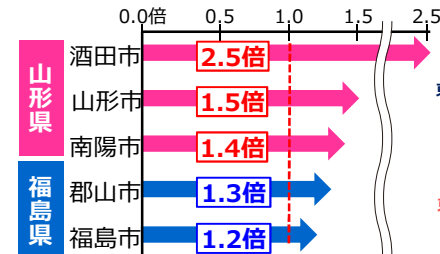


▼鉄鋼加工メーカーの輸送効率化の事例

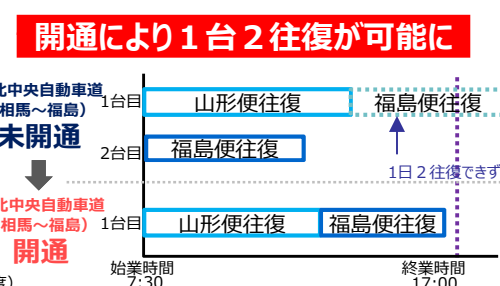
【東北中央自動車道開通による物流効率化】 物流効率化で事業の新規開拓と拡大



【山形県・福島県内企業との取引額の変化】



【製品輸送に必要な台数の縮減】



- アクセスが優れることから相馬港に進出し納期短縮により山形方面への顧客獲得、取引増加に繋がっています。
 - 物流効率化で山形方面と福島中通り方面への輸送は1台2往復が可能となり製品輸送に必要な台数も縮減しました。
- 出典: 鉄鋼メーカーヒアリング結果 (R3.1)